

第48回愛知県障害者技能競技大会

ホームページ種目 競技課題

1 競技課題

競技課題は 次の2つで構成される。

- ① 事前公表課題(本課題)
- ② 当日課題(競技当日に公開される)

2 事前課題

(1)課題の概要

本年は第5回アジアパラ競技大会が愛知県を中心に開催される年でもあり、注目度があがるパラスポーツ。多くの方にパラスポーツの魅力を紹介するホームページ作成を依頼されたと想定し、事前課題を提示する。

競技者は要件に従ってサンプルサイトを作成する。

※事前課題の作品は競技当日にも使用する。

※事前課題は、インターネットに接続されないローカルな環境で閲覧可能な静的コンテンツとして用意すること。

(2)要件

[概要]

・パラスポーツの魅力を紹介するホームページ

[ホームページの目的]

・パラスポーツの魅力の紹介を通じて、働きながらパラ スポーツに励む人々や、パラスポーツを応援する職場、企業や団体の活動などに対する認知向上

[ホームページの構成]

- ・トップページ
- ・パラスポーツについて
パラスポーツの概要、種類、魅力など紹介
- ・パラスポーツ競技紹介
 - ・ボッチャ 競技紹介(その他競技は当日課題として追加予定)
- ・パラスポーツ活動紹介
パラスポーツに取り組む人、職場など紹介

計:最低4ページ

(3)事前課題に関する仕様

・こちらから提供する画像やテキストなどを使用して、テーマに沿ったホームページを作成する。

[留意事項]

参加選手として決定した方には競技委員が作成した画像及びテキストを保存した CD を主催者であります高齢・障害・求職者雇用支援機構愛知支部より所属施設(個人参加の場合はご自宅)へ送付いたします。

- ・ソースコードも評価の対象とする。見やすく分かりやすいソースコードになるよう配慮すること。
- ・ナビゲーションは制作するページ以外にも必要だと思われるページへのリンクを設定する。
- ・レスポンシブデザインに対応すること。

(スマートフォン:320px~767px タブレット:768px~1279px デスクトップ:1280px 以上)

- ・文字コードには UTF-8 を使用すること。
- ・障害のある方の利用に配慮したホームページにすること。
ウェブアクセシビリティ対応を図ること。
「みんなのアクセシビリティ評価ツール:miChecker」を利用し評価・対策を図ること。
- ・作品は、他人の力を借りず、競技者自身が今回の競技のために新たに作成すること。
- ・画像や文章は、他者の知的財産権を侵害しないことを条件に使用して良い。

[使用して良い技術]

- ・HTML、CSS、JavaScript、jQuery、Bootstrap、miChecker
- ※jQuery、Bootstrap に関しては事前課題の画像等を送る CD に入っているもののみ使用を認める。

■生成 AI 活用に関して(事前課題作成のみ)

- ・生成 AI(ChatGPT 等)の活用は可能。
- ・利用部分は本人が十分に理解し、加筆修正すること。
- ・知的財産権を侵害する内容は禁止。ただし、競技当日はインターネット接続不可のため、生成 AI の 使用はできない。

[使用してはいけない技術]

- ・上記で指定された以外の技術
- ・上記以外のプラグインや CMS

(4)事前課題の提出

- ・USB メモリ、もしくは CD/DVD1枚に保存し、競技者の氏名を記入して、大会当日にホームページ競技会場の受付へ提出すること。
- ・USB メモリ、もしくは CD/DVD には、事前課題で使用していなくともサンプルの HTML/CSS ファイル、自作スクリプト、利用方法のメモ、その他素材を含めておいても良い。競技当日に受付で預かり、中身を確認後、各競技者のデスクトップに配布されたもののみ参照可能である。
※ただし、市販品の素材は認めない。あるいは、市販の HTML/CSS/JS 等のサンプル集を含めておくこともできない。あくまで本人が事前に制作したものに限る。なお、提出された USB メモリ、もしくは CD/DVD の内容は、競技前に競技委員が確認する。

3 当日課題(参考)

※以下は、第 48回愛知県障害者技能競技大会における当日課題をイメージするために参考として公表する。

当日課題では、事前課題の作品に含まれる素材を活用し、競技時間内に新たな要件に従いページを作成する。

- ・競技時間は3時間とする。(途中休憩1時間)
- ・作品の提出は、大会側が用意する備え付けの USB メモリに保存する。

[注意事項]

- ・与えられたパソコンにインストールされているソフトウェアは自由に使用して良い。
- ・市販の参考図書は原則として1冊までの持ち込みを認める。(持ち込む参考図書は受付時に提出し、競技委員が内容を確認した上で使用を認める)
- ・USB方式のキーボードおよびマウスについては、ドライバを新規で組み込む必要のないものに限っては持ち込みを認める。その際、持ち込む機器については選手各自の責任とし、競技用PCで満足に動作しないこともあるため選手各自で判断すること。競技委員は一切のサポートを行わない。
- ・ノートやメモ紙の持ち込みは認めない。
- ・事前作品と素材の入ったUSBメモリ、もしくはCD/DVDは受付で回収し、競技終了後に返却する。
- ・何らかの違反行為が認められた場合は、失格となる場合がある。

[新たな要件]

- ・追加ページの制作および追加要素の実装

パラ競技紹介ページの追加など当日課題とする予定であるため、事前の情報収集、素材準備などを推奨

4 本競技で求められる技能

(1)ウェブサイトデザイン

- ・利用ユーザや利用目的を理解し、適切に情報を伝達できるデザインができること
- ・インターフェースにおけるアクションに対して、想定通りのリアクションを構築できること
- ・ユーザビリティに配慮したデザインができること

(2)HTML・CSS

- ・指定されたデバイスや利用場所、利用目的を考慮し、適切な画面の実装が行えること
- ・HTMLおよびCSSについてW3C標準に準拠したコーディングが行えること
- ・構造化されたHTMLを記述できること
- ・各種画像フォーマットを理解し特性を生かしたイメージデータを作成することができること
- ・コンテンツに対して、適切なアニメーションや表現を構築できること

(3)フロントエンド

- ・クライアントサイドに用いるスクリプトのプログラミング技能を備えていること

(4)アクセシビリティ

- ・アクセシビリティに配慮したデザインができること
- ・アクセシビリティガイドライン(WCAG)に基づいた実装ができること

5 評価について

本競技では、「4 本競技で求められる技能」について評価を行う。配点は下表のとおりである。

評価項目	配点
ウェブサイトデザイン	30
HTML・CSS	35
フロントエンド	15
アクセシビリティ	20
合計	100

6 当日の稼働環境

ハードウェア(予定)

ノート PC	CPU	Intel Core i5-4200M
	メモリ	8GB
	画面解像度	1366×768ドット

ソフトウェア

OS	Microsoft Windows 11	
ブラウザ	Google Chrome	最新版
	FireFox	最新版
	Microsoft Edge	最新版
テキストエディタ	TeraPad	フリーソフト
	Visual Studio Code 拡張機能:LiveServer Japanese Language Pack	フリーソフト
	Sublime Text(英語)	フリーソフト
	Adobe Dreamweaver(日本語)	
グラフィックソフト	Adobe Photoshop(日本語)	
	Adobe Illustrator(日本語)	
アクセシビリティ評価ツール	miChecker	フリーソフト